

安全 &gt; 健康 品質 人づくり・働き方 サプライチェーン 社会貢献活動

## 健康

### 基本的な考え方

社員の「健康」は、日野自動車がすべての事業を推進するうえでの基盤であり、会社の財産とも言える重要な要素です。すべての社員がそれぞれの職場で、健康に活躍し続けることで、日野自動車は成長し続け、より一層お客様と社会に貢献することができます。

こころとからだの健康維持・増進を図るため、日野自動車は社員一人ひとりの日々の健康状態と向き合い、柔軟で細やかな対応を続けることで、すべての社員が活力にあふれ、いきいきと働き続けることが可能な企業を目指しています。

### 健康維持支援体制

日野自動車では、産業医や契約カウンセラーによる個別相談窓口、専門機関によるフリーダイヤルの電話相談窓口を設置しています。

2017年度からはメンタル不調者の早期発見・早期対応を強化するため、社内各職場に7名の相談員を置き、180名に対し延べ430回の面談や医療職へのつなぎ等の支援をおこないました。2018年度も相談員を6名増員し体制強化を図っています。

また健康診断や個別面談の結果、産業医が特別に対策が必要と判断した場合には、各職場単位で就労制限をおこなうよう指導するなど、社員の健康に配慮した体制が構築されています。

### こころの健康づくり

#### ◆ストレスチェック

すべての社員のストレスチェックの実施、セルフケアの啓発に取り組み、高ストレス者には医療職による面談や社外専門家による支援もおこなっています。またストレスチェックの結果は、分析、評価をした上で各職場に対しフィードバックをおこない、その後の職場運営に活用しています。

#### ◆メンタルヘルス研修

メンタル不調者の早期発見・早期対応のためには、各職場の管理者が基礎知識を習得することが重要と考えています。2013年度から「マネジメントにおけるメンタルヘルスの取り組み講義」と「傾聴実技訓練」の計6時間の研修を、新任の管理者に対して実施しています。2017年度には研修対象者を拡大し、合計344名の管理者が参加しました。

これらの教育の成果として、メンタル疾患の再発者数は、現在の教育を開始した2013年度比で5分の1に減少しています。

安全 ➤ 健康 品質 人づくり・働き方 サプライチェーン 社会貢献活動

● 管理者向けメンタルヘルス研修会受講実績

(単位：人)

事業所名	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
本社・日野工場	475	369	183	266
羽村工場	188	21	47	33
新田工場	91	22	44	27
古河工場	—	—	—	18
合計	754	412	274	344



メンタルヘルス研修

## からだの健康づくり

### ◆ 健康関連データ分析による不調者の早期発見・早期対応

社員のからだの健康を維持支援するためには、タイムリーに健康状態を把握し、適切な対応をおこなうことが必要です。日野自動車では定期健康診断結果や社外診療情報を分析し、日野自動車健康保険組合と協働で適切な施策立案につなげています。

これまでの具体的施策事例として、産業医による保健指導の強化をはじめ、2016年度から前立腺がん、大腸がん検診を定期健康診断に追加、2018年度からは乳がん、子宮がん、胃がんを、社員が個別に選択受診できる制度を設けました。

なお2017年度は受動喫煙防止対策として、日野本社の屋内喫煙所を閉鎖し、屋外喫煙所を受動喫煙の発生しない場所へ移設しました。また喫煙率の低下に向けて、各職場単位で社員の喫煙率の見える化や禁煙促進のための講演会、社内禁煙外来への費用補助などを実施しています。

### ◆ 熱中症予防対策

熱中症予防対策としては、設備対策に加え、ソフト面での対策強化として、熱中症予防セミナーの開催や販売飲料代金の一部補助(6月～9月)、経口補水液を含む機能性飲料の配布、休憩時間以外での給水タイム設定等を実施しています。

また各職場では、毎朝の対面による健康状態確認や、WBGT計(暑さ指数を測る装置)による職場環境の測定等、熱中症未然防止の取り組みをおこなっています。



屋根への遮熱塗装



グリーンカーテン



熱中症予防セミナー

安全 ▶ 健康 品質 人づくり・働き方 サプライチェーン 社会貢献活動

### ◆訪問型健康教室の取り組み

社員の健康増進の動機づけや必要な知識の習得を目的に、保健師や看護師が職場に出向いて健康講話をおこなう活動を開始しました。テーマの選定は次の5つの中から職場リクエストに応じて実施し、これまでに21回を開催し、延べ270人が参加しています。

| 講話テーマ | ①禁煙のすすめ ②腰痛予防 ③高血圧予防 ④より良い睡眠 ⑤健康診断結果の読み方

### ◆海外駐在員の健康支援

海外に駐在する社員に対しては、赴任前に産業医が任地事情を踏まえた健康管理の講義を対象者全員に実施しています。また、感染症に対する教育・啓発として、帯同家族も対象とした研修をおこない、事前の健康診断、予防接種等を実施しています。海外駐在中の健康相談窓口としては、産業医による電話や電子メールでの相談対応に加え、国内と同様にフリーダイヤルによる健康相談窓口を設置し、駐在員や帯同家族のこことからだの健康支援体制整備をおこなっています。

## 社外からの評価(「健康経営優良法人2018」(ホワイト500)に認定)

経済産業省と日本健康会議が共同で進める「健康経営優良法人認定制度」において、日ごろの従業員への健康支援の取り組みが評価され、2017年に引き続き「健康経営優良法人」(ホワイト500)に認定されました。

「健康経営優良法人認定制度」は、従業員の健康管理を経営的視点で考え、戦略的に健康増進に取り組んでいる優良な法人を認定する制度です。今後は社員のヘルスリテラシーの向上と定期健康診断やストレスチェックの結果に基づく保健指導対象者の拡大や面談の質の向上を図り、いきいきとした職場づくり支援と疾病の未然防止活動の強化に取り組んでいきます。



## 今後の取り組み

日野自動車はすべての社員の健康維持・増進を目指した健康支援体制を強化しており、グループ会社をはじめ、今後はさらなる活動範囲拡大に力を注いでいきます。

また社員の健康に対する意識向上や、不調者のさらなる早期発見・早期対応も重点課題と考えており、今後も啓発活動やストレスチェックなどの地道な活動を継続し、すべての社員が長く活躍し続けられる環境づくりを推進します。